

平成23年3月22日

東京グラフィックス会員企業
お客様各位

社団法人東京グラフィックサービス工業会
会長 谷 忠 明

東日本大地震に関して

印刷物納品遅れ等へのご理解をお願い申し上げます

拝 啓 爽春の候 貴社ますますご清栄のことと拝察いたします
また平素より、当会会員へのご発注、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます

さてこの度の震災に際し、被災された皆様にお見舞いを申し上げますと共に、お客様、ユーザーの皆様も多く被害に遭われていらっしゃるものと拝察いたします。私たち印刷・グラフィックサービス業界としては日夜、皆様のパートナーとして情報・文化の伝達、発信に努めております。しかし私共、都内の印刷産業も苦境に立たされております。ここに現状を申し上げ、お客様の皆様には極力ご不便をお掛けしないように努力しておりますが、現況をお知らせし、ご理解を戴くようお願い申し上げます次第であります。

敬 具

現況：震災直後から都内の印刷業界では、印刷にとって最も必要な用紙の手配に支障をきたしております。直接の被害は別として、工場内の機械設備の損傷、納品直前の印刷物の破損、保管データの消失、印刷用紙の水濡れ・損傷、機資材の調達不能、輸送手段の不能、等により大きな影響が出ております。

とりわけ、印刷資材なかでも印刷用紙の供給が東日本一体で逼迫しております。大手製紙メーカーである日本製紙では石巻、岩沼、勿来、秋田工場が完全に操業停止に陥っております。三菱製紙は、八戸工場の操業停止、王子製紙はダンボールの仙台工場が操業の見込みが立っていません。大王製紙は、新聞・板紙のいわき工場が操業停止、等々となっております。また、紙の流通面でもダメージが出ております。日本紙通商の物流で有明倉庫が出庫・引取りが不可、平和紙業の仙台で商品の入出荷不能、若洲デポでは在庫の半数が被害を受け、入出荷不能。新生紙パルプ商事も自家倉庫からの納入中止という状態。多くの紙倉庫がある江東区では、道路の液状化で交通面での障害が出ております。

加えて、印刷版のCTP、PS版、製版ファイルの富士ファイルも物流機能が麻痺して納品ができない状態もあります。他にも印刷インキ、溶剤の供給も同様の状態にあります。

お願い：ご発注いただいている印刷物に関して、用紙の手当て不能、製本工程のトラブル等によって、納期遅れや、仕様変更、用紙種類の変更等の事態も予測されます。会員は同業者をはじめ製紙、製版メーカーを含め、関連業者の協力も得て、お客様へご不便を掛けない努力を払っております。

しかし、私たちができることには限度もございます。ただ、都内には400社の同業社があり、全国には1,000社を超える仲間がおります。非常時にあたり、業界全体でお客様にご迷惑をお掛けしないように極力、業界ネットワークを駆使し、作業交流にも努めております。

今後も皆様のご要望に応えてまいります。是非、業界の窮状をご理解願ひ、個々の会員企業を引き続きご愛顧賜りますように、ここに伏してお願い申し上げます。